

那覇市上識名配水池



上 識 名 配 水 池 概 要

平成21年3月25日、上識名配水池はリニューアルしました。この配水池は、昭和45年建設のRC造り1,500m³の旧配水池が、40年の歳月により老朽化が進んでいたこと、また周辺地域の変化等により既設配水池能力では水压低下が懸念されたことから、水質保全および安定給水を図る目的として建て替えたもので、那覇市では初めてのステンレス鋼板製の配水池です。

ステンレス鋼板製を採用した理由は、配水池形状を自由に構成することが可能で、敷地の利用効果を高められること、さらには、同規模の配水池では建設費および維持管理費のトータルコストが有利であることから採用しました。

ステンレス鋼板製の場合、水槽周囲に光が反射して眩しいのではないかと心配されますが、ステンレス鋼板表面を研磨をせずに光沢のない銀白色の仕上げにすることで、光の反射を抑えています。

この配水池では、安定した給水が行えるように、低水压地域の解消を図るため増圧ポンプ設備を設け、配水池より低い地域の約500世帯へは自然流下で、配水池と同じ高さの地域の約200世帯へは増圧ポンプを介して配水します。

近隣住宅への圧迫感を低減するようセットバックを行いつつ、高さについても10mとし開放感が得られるようにしています。

そのほか、旧配水池にはなかった緊急遮断弁を設置し、災害時において必要な飲料水の確保のための備えを強化しました。



新旧配水池の比較

新 構造形式:2槽式ステンレス鋼板製
有効容量:1,500m³
有効水深:8.5m
その他:増圧ポンプ室の設置

旧 構造形式:鉄筋コンクリート角形
有効容量:1,500m³
有効水深:4.45m

配水池工事の概要

工事概要: 配水池工・建築設備工・配管工・
電気計装設備工・場内整備工

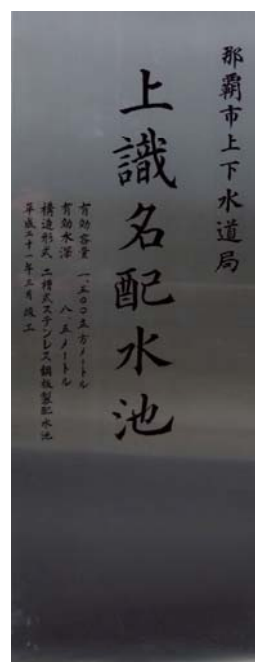
計装設備: 水位計、残留塩素計、流量計、
地震感知器、緊急遮断弁

設計業務: 平成19年度

工事着手: 平成20年 5月30日

工事竣工: 平成21年 3月25日

総事業費: 約4億3千万円



銘板
上識名配水池の銘板は、
書道家、佐久本興鴻さん（白邨書院主
宰）に揮毫して頂きました。